

アンジェリカ だより



新型コロナウイルス対策により引き続き、6月いっぱい規模を縮小しての開園となります。感染防止のためのご協力をお願いする中でありますが、その中でもできる限り子ども達が安心して楽しく過ごせるよう取り組んでいきたいと思っております。

園長 松尾康弘

6月
8日(月) 0.1.2歳児 身体測定
9日(火) 3.4.5歳児 身体測定
26日(金) 避難訓練

7月
8日(水) お話会
13日(月) 0.1.2歳児 身体測定
14日(火) 3.4.5歳児 身体測定
15日(水) 運動あそび指導
31日(金) 避難訓練

6月「お話会」、「運動あそび指導」
7月「夏祭り(旧、夕涼み会)」は
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止といたします。

にし組担任の渡邊理紗が、このたびめでたく入籍し、性が渡邊から根本に変わりました。これからもよろしくお願いたします。



ゆめ組担任の打矢綾が7月7日より産休に入ります。



コドモンのアプリについて

アプリのご登録ありがとうございます。6月より原則、お休みの連絡はアプリをご利用いただき、当日の8:30までにお願いいたします。お電話の場合も時間は同様です。

お迎えにつきましては登園後、健康連絡票の記載内容に変更があった際にはアプリよりご連絡ください。

それ以外の登降園についての連絡は「その他」欄からお願いいたします。担任が確認し受付します。

今後、その他の機能につきましても活用していきたいと考えています。その際はアプリ内の「お知らせ配信」よりご連絡させていただきます。

今後、通常の連絡につきましてはアプリより行います。

フェアキャストにつきましては災害等の緊急連絡などで使用いたします。

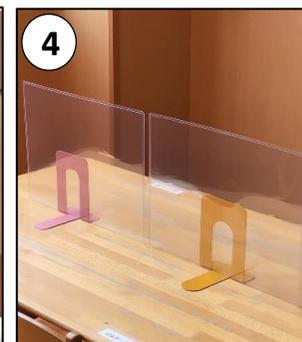


再度以下の点をご確認ください

自粛や早いお迎え等、ご協力いただきありがとうございます。ニュースでは新型コロナウイルスに対する企業等の対策などを目にすると思いますが、園でも以下のような取り組みを行っています。



- ①玩具や周辺環境の消毒
 - ②手洗いの徹底
 - ③次亜塩素酸水の消毒液(プロトクリンアクア)や手指消毒用アルコールの設置と使用
 - ④幼児クラスでは食事の際に子ども同士の間には手作りの仕切りを設置
- その他にも、職員も出勤時の体調チェックや、保育室の換気等もしっかりと行っております。



引き続き登園される際は、皆様も健康管理の徹底をお願いします。発熱37.5度以上や風邪のような症状が見られた場合、登園を控えていただき、解熱後24時間以内はご家庭で過ごしてください。嘔吐や下痢が見られた場合も同様です。

①必要に応じてマスクをご用意ください。その際はマスクへの記名と、保管用の袋もご用意ください。

②送迎は最小人数(大人1人)で行ってください。



③登園の際は、大人はアルコール消毒、お子様には石鹸を使用して手洗いをお願いします。お荷物(お布団含む)やお子様の引渡しに(1階は受け入れスペース、2階は廊下)についても引き続き5月と同じ対応をさせていただきますのでご協力をお願いいたします。

※アルコールの在庫がなくなりつつあります。ご協力をお願いいたします。

※アルコールが自動噴霧になりました。周りに飛び散らないように手をかざしてください。お子様にかからないようにしてください。



④ご家庭や職場等において感染が発生してしまった場合は速やかに園へご報告ください。

今後も、安心して子ども達が過ごしていけるよう、職員一同頑張っておりますので保護者の皆様もご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

今月号の裏面「クラスだより」は中止となります。代わりに、ひだまり通信を裏面に掲載させていただきます。





ひだまり通信

子育てのヒントを毎月掲載いたします。

参考文献：汐見稔幸著 「元気になる子育ての本②3～6歳 能力を伸ばす 個性を光らせる」



「読み聞かせ」と「話を聞いてやること」で 国語力を身につけさせる

文字を早く覚えたからと言って言葉の能力がその分高くなるとは限らない

文字は、言葉を書き留めたり、他人に伝えるための手段。その手段を早く身につけたからといって言葉の能力が発達することにはなりません。あくまでも手段。文字を早く読めるようになることと言葉の能力が高くなることは、ほとんどと言ってよいくらい関係がないのです。

文字だけ読めても伸びていかない

「文字」だけ早く読めても「文字の世界」に興味がないと結局は国語力などの能力は伸びません。文字が読めるという手段だけを先に身につけさせるのではなく、物語や手紙などの楽しさを沢山体験させてあげることです。

(例)



親：お手紙来たよ。読んであげるね。〇〇って書いてあるよ。じゃあお返事書こうか。かわりに書いてあげるから、何て書く？

親：（書いてから）これが〇〇ちゃんの言ったことを書いた手紙だよ。

子：自分でも書けるようになりたいな。

興味を持てば文字はあっという間に覚えてしまいます。
文字の世界に興味を持たせることがこの時期は大切です。

語学力を伸ばしたフィンランドの読み聞かせ文化

OECD（経済開発協力機構）加盟国の15歳以上の若者たちを対象に、読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーなどを調べた「生徒の学習到達度調査（PISA）」という国際比較の学力調査があります。これで長らく1位を占めているのがフィンランドです。

フィンランドでは一般のサラリーマン家庭に子ども用の本が平均で約500冊あると言われ、それを毎日読み聞かせているのは、主に父親だそうです。お父さんは17時頃には帰ってきてそれからは子どもと遊んだり読み聞かせをしてやるのです。この読み聞かせは小学校を終えるくらいまでは続くと言います。一つの家庭文化となっているのですね。



子どもが文字に興味を持ち始める頃になると、あるいは小学校入学が近くなると、どうやって文字を教えたり国語力を伸ばせば良いかと考えます。今は絵本を読んでもらう機会も多く、テレビにも文字が沢山出てきます。家の外に出て文字だらけ。文字を覚えるオモチャもありますから、昔に比べれば随分早くから文字に興味を持つようになりました。「あの家の子はもう文字が読めるらしい」「4歳になったら文字を教えなくちゃいけないのかしら」と親が焦って「あいうえお表」などを使って文字を覚えさせようとすることもあります。

読み聞かせを通して子どもは文字の存在を知る

絵本を毎日のように読んでもらっていると

大人は文字を見て読んでるのか。

お話しして面白いな。

自分でもこんなふうに読めるといいな。



と思うようになります。

でも、全体ですらすら読めなければイメージが湧きません。ですから、自分で読むより大人に読んでもらった方が楽しいと思う傾向が強い子どもはそれほど積極的に文字を覚えようとはしないのです。

言葉は興味と必要性があれば身につく

日本語に限らず、言葉は興味と必要性があれば身につきます。時には左記の例のように、誰かから子ども宛に手紙を書いてもらい読んであげるのも良いですね。文字に興味がない時は「書いてあげるから、一緒にお手紙書こうか。」と誘ってみたり、サンタさんに手紙を書いてみるのもいいですね。そのような形で文字は役にたつ文字を使った世界は面白い、楽しいと実感できるようにします。4歳位で文字が読めるようになる子もいれば小学生になってからどんどん読むようになる子もいます。時期は人それぞれ。文字の世界が好きになるよう育てていけばやがて自分から進んで読んでいくようになるでしょう。

ぜひ文字を使った世界を堪能できる子どもに育ててほしい、ということです。



読み聞かせは歴史や科学への興味も広げる

読み聞かせは子どもが物語りや歴史や科学への興味を広げる言わば入り口のような役目を果たします。例えば日本の家庭なら「よし、今度は日本の歴史が書いてある本を読もう。日本人だから日本の歴史はきちんと知っておかないとね」と面白い歴史物語を読んでやる。そうすると子どもは「あんなに大きな大仏って、何で作ったのかな？」ともっと知りたくなり、「造るのは凄く大変だったんだ。」とわかると実際に大仏を見に行こうとなったり、大仏の造り方やその頃の歴史にさらに深い興味を持ったりします。

フィンランドではそういう読み聞かせを6年生頃まで続ける家があると言うのですから言葉の作り出す世界をじっくりと味わうということに対する姿勢がしっかり根づき、そして育てているのでしょう。

フィンランドは日本に比べ人口が少ないため発行部数が多くなく、フィンランド語の本は必然的に高価です。子どもの本も高価なので譲り合うことが多いようです。また、公共の図書館がじつに沢山あります。日本は簡単に本が手に入りますが、肝心の読み聞かせをする時間が少ない、と言うのはもったいないですね。